

生きるためのがん保険Days1
生きるためのがん保険Days1プラス

生きるためのがん保険Days1

「がん保険」をお考えの方へ

生きるための
がん保険
Days1

がん治療を幅広くカバー！
がんと向き合う人に寄り添い
サポートします！

ご希望のプランを お選びいただけます		診断保障充実プラン 診断給付金額100万円	診断保障基本プラン 診断給付金額50万円	保険期間
三大治療	診断給付金	がん・上皮内新生物 それぞれ1回限り 一時金として がん 100万円 上皮内新生物 10万円	がん・上皮内新生物 それぞれ1回限り 一時金として がん 50万円 上皮内新生物 5万円	終身
	入院給付金	日数無制限 1日につき 10,000円	1日につき 5,000円	
	通院給付金	①三大治療のための 通院は日数無制限 ②所定の通院期間中 (365日以内)は日数無制限 1日につき 10,000円	1日につき 5,000円	
	手術 治療給付金	一連の手術については 14日間に1回を限度 回数無制限 1回につき 20万円	1回につき 10万円	
	放射線 治療給付金	60日に1回を限度 回数無制限 1回につき 20万円	1回につき 10万円	10年更新
三大治療	抗がん剤 治療給付金	更新後の 保険期間を含め 特約給付金の 給付倍率を通算して 120倍まで 10万円 (給付倍率2倍) [乳がん・前立腺がんのホルモン剤治療の場合]	更新後の 保険期間を含め 特約給付金の 給付倍率を通算して 120倍まで 5万円 (給付倍率2倍) [乳がん・前立腺がんのホルモン剤治療の場合]	
	ホルモン剤 治療給付金	更新後の保険期間を含め通算600万円まで 5万円 (給付倍率1倍)	更新後の保険期間を含め通算300万円まで 2.5万円 (給付倍率1倍)	

月払保険料【団体取扱】		〈Days1〉 定額タイプ 解約払戻金なしタイプ 〈特定保険料払込免除特約〉なし 保険料払込期間:終身(〈抗がん剤・ホルモン剤治療特約〉は10年更新)									
契約日の満年齢		20歳	25歳	30歳	35歳	40歳	45歳	50歳	55歳	60歳	65歳
診断保障 充実プラン 診断給付金額100万円	男性	2,110円	2,450円	2,880円	3,490円	4,300円	5,380円	6,820円	8,760円	11,230円	13,950円
	女性	2,110円	2,470円	2,940円	3,570円	4,330円	5,150円	5,840円	6,600円	7,460円	8,320円
契約日の満年齢		20歳	25歳	30歳	35歳	40歳	45歳	50歳	55歳	60歳	65歳
診断保障 基本プラン 診断給付金額50万円	男性	1,055円	1,225円	1,440円	1,745円	2,150円	2,690円	3,410円	4,380円	5,615円	6,975円
	女性	1,055円	1,235円	1,470円	1,785円	2,165円	2,575円	2,920円	3,300円	3,730円	4,160円

(注) 〈抗がん剤・ホルモン剤治療特約〉は所定の年齢まで10年ごとに更新があり、更新後の保険料は更新時の年齢・保険料率によって決まります。
◎商品およびサービスの詳細は、「契約概要」等をご覧ください。(記載している保険料・保障内容などは2020年2月現在のものです。)

「Days1」「Days1プラス」どちらもご利用いただけます。

がん専門相談サービス プレミアサポート

がん治療に伴う生活情報サービス

生きるためのがん保険Days1プラス

すでにアフラックの「がん保険」にご加入されている方へ

あなたの保障を最新化

生きるための
がん保険
Days1プラス

ご加入中の「がん保険」を活かして、
現在の治療に対応したがん保障へ！

※〈Days1プラス〉は、現在ご契約中のアフラックの「がん保険」とあわせて
ご契約いただくことを前提とした商品です。どちらも大切にご継続ください。

ご希望のプランを お選びいただけます		診断給付金 ありプラン	診断給付金 なしプラン	保険期間
三大治療	診断給付金	がん・上皮内新生物 それぞれ1回限り 一時金として がん 50万円 上皮内新生物 5万円	———	終身
	通院給付金	①三大治療のための 通院は日数無制限 ②所定の通院期間中 (365日以内)は 日数無制限 1日につき 5,000円	1日につき 5,000円	
	手術 治療給付金	一連の手術については 14日間に1回を限度 回数無制限 1回につき 5万円	1回につき 5万円	
	放射線 治療給付金	60日に1回を限度 回数無制限 1回につき 5万円	1回につき 5万円	
	抗がん剤 治療給付金 ホルモ ン剤 治療給付金	更新後の 保険期間を含め 特約給付金の 給付倍率を通算して 120倍まで 5万円 (給付倍率2倍) 更新後の保険期間を含め通算300万円まで 2.5万円 (給付倍率1倍)	更新後の 保険期間を含め 特約給付金の 給付倍率を通算して 120倍まで 5万円 (給付倍率2倍) 更新後の保険期間を含め通算300万円まで 2.5万円 (給付倍率1倍)	10年更新

月払保険料【団体取扱】		〈Days1プラス〉 定額タイプ 解約払戻金なしタイプ 保険料払込期間:終身(〈抗がん剤・ホルモン剤治療特約〉は10年更新)									
契約日の満年齢		20歳	25歳	30歳	35歳	40歳	45歳	50歳	55歳	60歳	65歳
診断給付金 ありプラン 診断給付金額50万円	男性	680円	795円	940円	1,155円	1,445円	1,840円	2,380円	3,115円	4,075円	5,140円
	女性	735円	875円	1,060円	1,315円	1,635円	1,965円	2,230円	2,520円	2,835円	3,145円
契約日の満年齢		20歳	25歳	30歳	35歳	40歳	45歳	50歳	55歳	60歳	65歳
診断給付金 なしプラン	男性	330円	375円	430円	545円	695円	910円	1,230円	1,685円	2,305円	3,010円
	女性	395円	475円	580円	755円	985円	1,215円	1,390円	1,560円	1,745円	1,925円

(注) 〈抗がん剤・ホルモン剤治療特約〉は所定の年齢まで10年ごとに更新があり、更新後の保険料は更新時の年齢・保険料率によって決まります。
◎商品およびサービスの詳細は、「契約概要」等をご覧ください。(記載している保険料・保障内容などは2020年2月現在のものです。)

特約を付加して保障を手厚くできます。
詳細は次のページをご覧ください。

※がん専門相談サービス プレミアサポートは(株)法研が提供
するサービスです。がん治療に伴う生活情報サービスは
(株)保健同人社が提供するサービスです。アフラックの
保険契約による保障内容ではありません。

生命保険
医療保険
3大疾病保険
がん保険
傷害保険
自動車保険
火災保険・地震保険
重要事項のご説明
申込書記入要領
会社別加入一覧

ニーズに合わせて特約を付加して、保障を強化できます

解約払戻金なしタイプ 定額タイプ〈特定保険料払込免除特約〉なし ⚠️ 上皮内新生物は保障の対象外となります。

特約のみのご契約は
できません。

緩和療養特約

緩和療養給付金

「がん」による痛みを和らげる治療と緩和ケアのための入院または在宅医療を受けたとき

特約給付金額5万円の場合

24回を限度
治療を受けた月ごと

5万円

保険期間

終身

月払保険料【団体取扱】

〈緩和療養特約〉保険料払込期間:終身

契約日の満年齢	20歳	25歳	30歳	35歳	40歳	45歳	50歳	55歳	60歳	65歳
男 性	76円	88円	104円	122円	142円	172円	204円	242円	284円	334円
女 性	58円	66円	76円	88円	100円	114円	124円	140円	158円	186円

保険期間

⚠

外見ケア特約

外見ケア
給付金

[がん]の治療を目的とするつぎの①②いずれかの手術を受けたとき
①顔または頭部に生じた
「がん」の摘出術または切除術
②手指または足指の第一関節以上の
切断術（四肢切断術を含む）

更新後の保険期間を含め
①②それぞれ1回ずつ

20万円

[がん]の治療により頭髮に脱毛の
症状が生じたと医師に診断されたとき

更新後の保険期間を含め
1回限り

10万円

10年
更新

月払保険料【団体取扱】〈外見ケア特約〉保険料払込期間:10年更新

契約日の満年齢	20歳	25歳	30歳	35歳	40歳	45歳	50歳	55歳	60歳	65歳
男 性	17円	19円	20円	23円	31円	44円	67円	108円	162円	217円
女 性	19円	23円	31円	46円	64円	79円	86円	95円	110円	123円

				保険期間	
がん先進医療特約		がん先進医療 給付金	1回につき 先進医療にかかる技術料のうち	自己負担額と同額	
		がん先進医療 一時金	1回につき	15万円	
月払保険料【団体取扱】〈がん先進医療特約〉保険料払込期間:10年更新				男女共通	
				全年齢一律92円	

保障の対象となる先進医療は、厚生労働大臣が認める医療技術で、医療技術ごとに適応症(対象となる疾患・症状等)および実施する医療機関が限定されています。また、厚生労働大臣が認める医療技術・適応症・実施する医療機関は随時見直されます。

診断給付金
複数回支払特約

複数回診断
給付金

がん・上皮内新生物
それぞれ2年に1回を限度
特約給付金額25万円の場合

1回につき
がん
25万円
1回につき
上皮内新生物
2.5万円

保険期間
終身

月払保険料【団体取扱】 〈診断給付金複数回支払特約〉 保険料払込期間:終身

契約日の満年齢	20歳	25歳	30歳	35歳	40歳	45歳	50歳	55歳	60歳	65歳
男 性	115円	140円	165円	195円	230円	275円	325円	385円	435円	465円
女 性	115円	135円	155円	175円	190円	205円	215円	220円	230円	240円

保険期間

女性がん特約

女性特定ケア
給付金

1回につき

20万円

乳房再建給付金

1回につき

50万円

10年更新

月払保険料【団体取扱】

〈女性がん特約〉保険料払込期間:10年更新

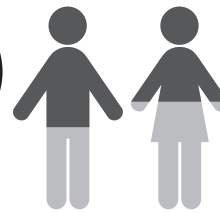
契約日の満年齢	20歳	25歳	30歳	35歳	40歳	45歳	50歳	55歳	60歳	65歳
女 性	61円	61円	68円	140円	253円	281円	258円	263円	270円	273円

※〈外見ケア特約〉〈がん先進医療特約〉〈女性がん特約〉は所定の年齢まで10年ごとに更新があり、更新後の保険料は更新時の年齢・保険料率によって決まります。※アフラックの「がん保険」「医療保険」に付加する先進医療の特約は被保険者お1人につき通算して1特約のみご契約いただけます。※アフラックの「がん保険」「医療保険」に付加する女性がん特約および女性特定手術特約は、被保険者お1人につき通算して1特約のみご契約いただけます。※〈診断給付金複数回支払特約〉の中途付加はできません。

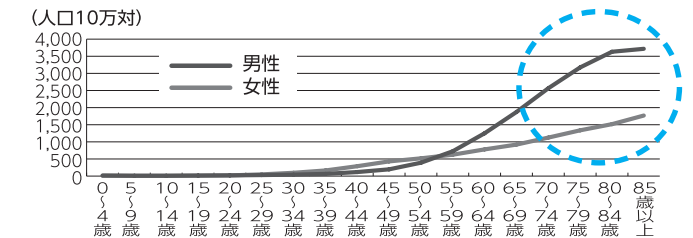
◎詳しくは「契約概要」等をご覧ください。(記載している保険料・保障内容などは2020年2月現在のものです。)

資料請求はこちらから!
https://webby.aflac.co.jp/tokyu/スマホ・携帯で
簡単アクセス!ご存知
ですか?男性、女性ともに、おおよそ2人に1人が
一生のうちにがんと診断される※1といわれています

一生涯のうちにがんと診断される人の割合

男性
61.9%女性
46.5%

がんにかかるリスク 年齢階級別 累積罹患リスク 診断年2014年 全部※2



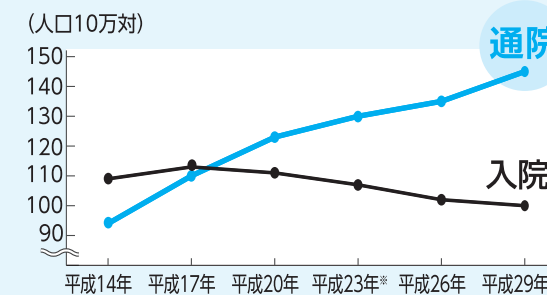
※1 公益財団法人がん研究振興財団「がんの統計'18」年齢階級別罹患リスク(2014年罹患・死亡データに基づく)全がん

※2 国立がん研究センターがん情報サービス「がん登録・統計」グラフデータベース罹患データ(全国推計値)(2014年データに基づく)

がんの通院治療は
増加傾向にあります

医療の進歩にともない、従来入院で行っていたがん治療が通院でも行えるようになってきました。近年入院よりも「通院治療」が増加の傾向にあります。

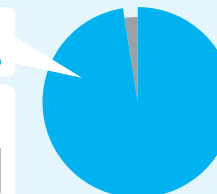
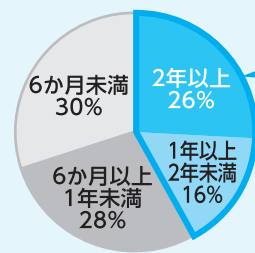
●がん(悪性新生物)の外来受療率・入院受療率の推移

通院治療が
増加して
います厚生労働省「平成14年、17年、20年、23年、26年、29年患者調査」
※宮城県の石巻医療圏、
気仙沼医療圏および
福島県を除いた数値。がんの三大治療は手術、放射線治療、
抗がん剤・ホルモン剤治療です

●がん治療経験者の三大治療受療割合

三大治療の
いずれかの経験あり 97.5%三大治療いずれかの
「経験あり」のうち治療別の割合

手術	88.4%
放射線治療	19.7%
抗がん剤・ホルモン剤治療	35.2%

回答数=4,544
がん罹患患者およびその家族
へのアンケート調査
(2019年6月アフラック実施)がんの治療は
長期になる可能性があります●抗がん剤・ホルモン剤治療を含む
治療を受けた場合の治療期間治療期間が1年以上の割合は
42%治療期間の平均日数は
490日回答数=1,439
がん罹患患者およびその家族へのアンケート
調査(2019年6月アフラック実施)

乳がんなど「がんの治療」には、経済的な負担がかかる場合があります

がんの治療は、三大治療や先進医療など多様化しています。抗がん剤・ホルモン剤治療は長期間の通院治療が必要になるケースもあり、先進医療は健康保険が適用されないため、全額自己負担となります。これらの治療を受けた場合は、治療費が高額になる場合があります。

通院治療の一例(乳がんの場合)

検査	手術切除術	組み合わせ	放射線治療	約5週
			抗がん剤治療	約1年
			ホルモン剤治療	約5年

※治療内容・期間・組み合わせは、個々の患者の方の
病期や病状により異なります。

先進医療にかかる技術料の例

重粒子線治療を受けた場合の
自己負担額の1件あたりの費用 約309万円※重粒子線治療の平均費用:厚生労働省
第81回先進医療会議「令和元年6月30日時点における
先進医療Aに係る費用 令和元年度実績報告(平成30年
7月1日~令和元年6月30日)」をもとにアフラック算出

[先進医療]とは、厚生労働大臣が認める医療技術で、医療技術ごとに適応症(対象となる疾患・症状等)および実施する医療機関が限定されています。また、厚生労働大臣が認める医療技術・適応症・実施する医療機関は随時見直されます。

